

日本天文学会 1966 年春季年会 プログラム

◇日 時 昭和 41 年 5 月 12 日(木), 13 日(金), 14 日(土)

◇場 所 東京都文京区本郷 7 丁目 3 の 1, 東大理学部 2 号館講堂

	午前 (9時より)	午後 (1時より)	夜
12 日 (木)	研 究 発 表	研 究 発 表	
13 日 (金)	研 究 発 表	研 究 発 表	懇 親 会
14 日 (土)	研 究 発 表	研 究 発 表	

★ 講演申込がかなり多くなりましたが, なるべく 2 会場に分けない方がよいとの会員諸氏の意見により, 時間割りはいつもより窮屈になっておりますので, 講演者は, 時間厳守に御協力をお願いします,

★ 12 日正午より評議員会, 13 日正午より総会, 14 日正午より理事会を開催します.

講演予稿集について: 特別会員には 1 部ずつ無料で配布しますが, その他の方および特別会員で 2 部以上希望される方は 1 部につき実費 100 円, 送料 10 円をお送り下さい. 年会の当日会場でもおわけします.

第 1 日 5 月 12 日 (木)

[午前] (9時より)

分

1. 奥田豊三, 高木重次, 角田忠一, 弓滋, 須川力 (緯度観測所): 光波干渉式座標測定器の試作10
2. 後藤進, 高橋久太郎, 佐々木恒 (緯度観測所): 緯度観測におけるセンチレーションについて10
3. 須川力, 古川麒一郎, 横山紘一 (緯度観測所): Astrolabe の予備観測15
4. 古川麒一郎, 春山仁* (緯度観測所, *国土地理院): 2 種類の Astrolabe による比較観測10
5. 若生康二郎 (緯度観測所): 自由章動の振幅, 周期, 位相について (II)10
6. 奥田豊三, 須川力 (緯度観測所): 極の永年変化 (II)15
7. 高木重次 (緯度観測所): 緯度の永年変化の問題点について10
8. 高木重次 (緯度観測所): 極運重力の確率運動方程式について10
9. 飯島重孝, 虎尾三春, 藤原清 (東京天文台): GBR の日周位相変化の季節的推移 (II)10
10. 飯島重孝, 岡崎清市 (東京天文台): 地球自転速度の年周変化12
11. 伊奈辰之 (東京天文台): ゴーチエ 8 吋××環の Instrumental System について 8

[午後] (1時より)

12. 関口直甫 (東京天文台): 月の自由秤動10
13. 堀源一郎 (東大理): 摂動函数の長年項について10
14. 堀源一郎 (東大理): 衛星運動論における長年摂動10
15. 菊池定衛門 (東北大理): 臨界傾角は特異点ではなく正則点である10
16. 井上猛 (東北大理): 人工衛星の運動理論における Garfinkel の一次近似理論について10
17. 秋山薫, 竹内端夫*, 平山智啓* (法政大学, *東京天文台): ヒルダ群小惑星の運動 (III) 6
18. 畑中至純 (東京天文台): 冥王星の軌道15
19. 松島訓 (東大理, アイオワ大): 上層大気中の dust の形状および密度分布10
20. 広瀬秀雄, 富田弘一郎, 長沢工* (東京天文台, 東大地震研): 獅子座流星群の観測概報 7
21. 赤羽徳英 (京大花山天文台): Wrinkle Ridge について 8
22. 松丸勝 (防衛大): レンジャー衛星にて得られた月面 TV 写真 (その 2) 6
23. 土屋淳, 長根潔, 能登谷直邦 (東京天文台): 17 G c/s での月の観測10
24. 松島訓 (東大理, アイオワ大): Magnetosphere の月面に及ぼす影響10
25. James E. Hansen (東大理, アイオワ大): 金星の大気構造と表面温度10
26. 上野季夫 (京大理): 反射底面を有する非均質大気による光の散乱について 8
27. 宮本正太郎 (京大理, 花山天文台): 地球型惑星のマントル対流について 7
28. 平山淳, 守山史生 (東京天文台): イケヤ・セキ彗星の観測 7
29. 松島訓 (東大理, アイオワ大): 太陽系外惑星の頻度分布10

第 2 日 5 月 13 日 (金)

〔午前〕 (9 時より)

30. 石田五郎 (東京天文台, リック天文台): 実視連星の視線速度観測……………10
31. 高瀬文志郎 (東大理): Galaxies の力学的諸量の統計 (統報)……………10
32. 宮本昌典 (東京天文台): 棒状銀河系の複合モデル (II)……………10
33. 清水鹽 (京大理): Random Gravitational Force の評価……………10
34. 堀源一郎 (東大理): 特殊相対論と膨張宇宙……………10
35. 松丸勝, 江沢正 (防衛大): ビデオスペクトロヘリオスコープの概要 (その2)… 7
36. 鈴木義正 (京都教育大): 小黑点 (直径 5000~1000 km) の深さについて………… 8
37. 辻村民之, 堀井政三 (京大, 生駒山太陽観測所): IQSY 間の太陽活動観測結果について…………… 7
38. 牧田貢, 清水実* (東京天文台, *岡山天体物理観測所): 1965 年 11 月 23 日の部分食より求めた散乱関数……………10
39. 辻隆 (東大理): 太陽の赤外輻射強度について……………10
40. 日江井栄二郎 (東京天文台): 太陽の可視域連続光と極紫外域連続光との比較… 7
41. 松島訓, 寺下陽一* (東大理, アイオワ大, *京大理): 太陽大気の外層領域における連続吸収源について……………12

〔午後〕 (1 時より)

42. 牧田貢 (東京天文台): 黒点暗部のスペクトル Fe II, Cr II の吸収線は存在するか……………10
43. 牧田貢 (東京天文台): 1958 年日食の閃光スペクトルの H, K, H_α 輝線の測定……………10
44. 末元善三郎 (東大理): K 線の輪廓について……………10
45. 石沢俊亮 (京大理): Ca II K 線の線中心における強度と彩層の不均質………… 10
46. 神野光男, 田中利一郎* (京大花山天文台, *新潟大): 太陽遷移領域の幾何学的構造について…………… 8
47. 平山淳 (東京天文台): プロミネンスの上昇運動について…………… 7
48. 為永辰郎 (京大理): プロミネンスの鋭い水素輝線の観測…………… 5
49. 椿都生夫 (大分大学芸): コロナ・コンデンセーションの新しいモデル………… 10
50. 長根潔, 甲斐敏造, 塩見靖彦, 能登谷直邦 (東京天文台): 17 G c/s 8 要素干渉計の調整と観測例……………10
51. 土屋淳, 長根潔, 塩見靖彦 (東京天文台): 17 G c/s での太陽電波 S 成分等の観測……………10
52. 土屋淳, 渋谷暢孝, 甲斐敏造 (東京天文台): デシメーター波帯における太陽電波の観測…………… 8
53. 高倉達雄, 甲斐敏造, 土屋淳 (東京天文台): solar cycle の初期における太陽電波活動……………10
54. 緩目信三 (東大理, 名大空電研): ノイズストームと地磁気指数 (K_p) との相関…………… 5
55. 河鱒公昭 (東京天文台): プラズマ雲の加速とフレアの起源……………10
56. 内田豊 (東京天文台, High Altitude Observatory): 太陽表面附近の大気構造における重力流体力学波の振舞について……………10

57. 加藤正二 (東大理): 媒質の圧縮性の振動的対流への影響……………10
 58. 桜井健郎 (京大工): 太陽の自転の流体力学的研究……………10

第 3 日 5 月 14 日 (土)

[午前] (9時より)

59. 前沢潔 (山形大文理): Coriolis force のもとでのガス球の不均一回転…………… 8
 60. 杉本大一郎・山本嘉昭 (名大理): 第二ヘリウム・フラッシュと炭素の起源…………… 5
 61. 竹内峯 (東北大理): δ Cep の“位相のずれ”について (2)…………… 5
 62. 加藤正二, 海野和三郎 (東大理): 重力収縮による脈動不安定性……………10
 63. 海野和三郎, 岡本功 (東大理): 脈動星に対する Baker の一層モデルの改良……………10
 64. 尾崎洋二 (東大理): 大質量星の進化について……………10
 65. 細川良正 (山形大文理): 分離型食連星の光度曲線に及ぼす主星自転の効果…………… 7
 66. 北村正利 (東京天文台): 食変光星 TX Cnc の光電測光 (その II)…………… 7
 67. 小平桂一, 海野和三郎*, 近藤正明* (東京天文台, *東大理): 188 cm 望遠鏡
クレーン焦点における Instrumental Polarization…………… 5
 68. 大沢清輝, 市村喜八郎, 西村史朗 (東京天文台): HD 30353 の変光振の増大…………… 5
 69. 大沢清輝 (東京天文台): HD 221568 の連続スペクトルの解釈…………… 7
 70. 小平桂一 (東京天文台): A 型特異星 HD 221568 のスペクトル分析…………… 7
 71. 長谷川靖子 (京大理): NON GRAY MODEL 大気…………… 7
 72. 寺下陽一, *松島訓 (京大理, *東大理, *アイオワ大): DA 型白色矮星大気
内のヘリウム…………… 7

[午後] (1時より)

73. 辻隆 (東大理): 低温度星の大気構造……………15
 74. 藤田良雄, 辻隆, 前原英夫 (東大理): 炭素星における C^{12}/C^{13} 比量につい
て (III)……………10
 75. 下小田博一 (愛知学芸大): 運動状態にある恒星大気中の原子の population
ratio について…………… 8
 76. 平田龍幸, 上杉明 (京大理): Balmer Decrements…………… 7
 77. 橋本敏造 (京大理): 広がった大気における輻射場の運動論について (I)…………… 7
 78. 大谷浩, 小暮智一 (京大理): 星間衝撃波の構造 (II)……………10
 79. 高柳和智 (菟谷大, 京大理): M 87 近傍の compact galaxy について…………… 5
 80. 大谷浩 (京大理): カニ星雲のスペクトル観測…………… 7
 81. 高橋孝雄, 宮沢敬輔, 赤羽賢司 (東京天文台): 1417 メガサイクルにおける
Cyg X の観測…………… 7
 82. 松岡勝, 早川幸男*, 山下順*, 小川英夫* (東大宇宙研, *名大理): 銀河 X 線
の観測結果……………15
 83. 高倉達朗, 土屋淳, 長根潔 (東京天文台): ロケットによる 3 M c/s 銀河電波
の観測……………10
 84. 早川幸男, 奥田治之, 杉本大一郎, 松岡勝, 松本敏雄, 小川英夫 (名大理):
赤外線による天体およびバックグラウンドの観測……………15
 85. 渡辺亮, 小暮智一, 大谷浩, 伊藤周宮子 (京大理): NGC 4258 の分光観測…………… 6
 86. 佐藤文男 (東大理): NGC 1068 の核のガスの電離機構について…………… 7
 87. 菊池仙 (東大理): 星間雲の収縮について……………10
 88. 森本雅樹, 石沢慎弘*, 宮沢敬輔 (東京天文台, *電波研): H II 領域の電波観
測 (I)……………10
 89. 横井寛, 佐藤敏雄 (国際電々): 電波星のフラックス測定……………10